平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年7月31日

上場会社名　ソーダニッカ株式会社　　上場取引所　東
コード番号　8158　URL　http://www.sodanikka.co.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 長洲 崇彦
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部門長　(氏名) 安江 正人　TEL 03-3245-1803

四半期報告書提出予定日　平成25年8月9日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	23,365	1.9	334	17.0	396	12.8	234	59.3
25年3月期第1四半期	22,924	△2.2	285	△17.1	351	△15.8	147	△25.5

(注)包括利益　26年3月期第1四半期　522百万円　(―%)　25年3月期第1四半期　△221百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	9.39	―
25年3月期第1四半期	5.89	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第1四半期	51,351	17,279	33.6
25年3月期	51,567	16,918	32.8

(参考) 自己資本　26年3月期第1四半期　17,279百万円　25年3月期　16,918百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	―	6.50	―	6.50	13.00
26年3月期	―				
26年3月期(予想)		6.50	―	6.50	13.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成26年 3月期の連結業績予想(平成25年 4月 1日～平成26年 3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	48,000	4.1	610	3.2	670	1.2	390	54.6	15.63
通期	99,000	5.9	1,400	14.9	1,500	12.2	880	15.3	35.26

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期1Q	25,168,000 株	25年3月期	25,168,000 株
② 期末自己株式数	26年3月期1Q	213,594 株	25年3月期	212,674 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期1Q	24,954,566 株	25年3月期1Q	24,964,095 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1.当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
(1) 経営成績に関する説明 …… 2
(2) 財政状態に関する説明 …… 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3

2.サマリー情報(注記事項)に関する事項 …… 3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3

3.四半期連結財務諸表 …… 4
(1) 四半期連結貸借対照表 …… 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 8
(継続企業の前提に関する注記)…… 8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) …… 8
(セグメント情報等) …… 8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第１四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府主導の大胆な経済政策による、為替の円安傾向や株価の回復などにより、緩やかな回復の兆しがみられましたものの、実体経済の回復までには至らず、先行き不透明な状況で推移いたしました。

当社グループに関係の深い化学工業界につきましては、円安基調に伴う輸出環境の改善が見込まれるものの、国内においては円安による原料高、製品安の構造から抜け出せず、総じて厳しい事業環境となりました。

このような状況のもと、当社グループにおきましては、化学品と機能材の二事業を基軸とする経営を推進するとともに、東アジアを中心とした海外取引の拡大と再生可能エネルギー関連資材の販売等、環境関連ビジネスの強化に努めてまいりました。

この結果、当第１四半期連結累計期間の業績は、売上高 233 億６千５百万円（前年同期比 1.9%増)、営業利益３億３千４百万円（同 17.0%増)、経常利益３億９千６百万円（同 12.8%増)、四半期純利益２億３千４百万円（同 59.3%増）となりました。

セグメント別の概況は次のとおりであります。

【化学品事業】

無機薬品につきましては、主力商品のか性ソーダ及び硫酸は減収となりましたが脱硫用途の水酸化マグネシウムは増収となりました。官公庁向けの活性炭は増収となりましたが、水処理薬剤のポリ塩化アルミニウムは減収となりました。また、洗剤用途のソーダ灰及び電池用マンガン化合物は需要の減少により減収となりました。

有機薬品につきましては、製紙用ラテックス、エチレングリコール及び機能性溶剤は増収となりましたが、建築用シリコーン及び製紙向けの加工でんぷん類は減収となりました。

この結果、化学品事業といたしましては、売上高は前年同期に比べ 3.0%減の 159 億９千４百万円、セグメント利益（営業利益）は前年同期に比べ 0.1%増の５億４千９百万円となりました。

【機能材事業】

合成樹脂につきましては､フッ素樹脂は増収となりましたが､ポリエステル樹脂は減収となりました。

また、フィルム類につきましてはポリプロピレンフィルム、ナイロンフィルム及び複合フィルムは増収となりました。

機器類につきましては、太陽光パネル等の電気関連機器は大幅に増収となりましたが、包装関連機器及び工事は減収となりました。

その他の資材につきましては、グラウト材料及びキレート剤は復興需要もあり増収となりました。

この結果、機能材事業といたしましては、売上高は前年同期に比べ 12.3%増の 70 億５千５百万円、セグメント利益（営業利益）は前年同期に比べ 99.6%増の２億１千３百万円となりました。

【その他事業】

その他の事業につきましては、売上高は連結子会社の曹達日化商貿(上海)有限公司の増収などにより、前年同期に比べ104.5%増の３億１千５百万円となりました。また､セグメント損失(営業損失)はPT.SODA NIKKA INDONESIAの販管費が増加したことにより、前年同期に比べ23.4%増の３百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

【財政状態の分析】

当第1四半期連結会計期間末における総資産は前連結会計年度末に比べ2億1千6百万円減少いたしました。

増減の主なものは資産の部では、現金及び預金が9億7千9百万円増加し、受取手形及び売掛金が11億3百万円減少いたしました。負債の部では、支払手形及び買掛金が2億7千3百万円、未払法人税等が1億9千9百万円それぞれ減少いたしました。純資産の部では、その他有価証券評価差額金が2億5千7百万円増加しております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、平成25年5月9日付公表の数値に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成25年６月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,423	5,403
受取手形及び売掛金	33,738	32,635
商品及び製品	4,426	4,029
繰延税金資産	153	90
その他	160	141
貸倒引当金	△73	△68
流動資産合計	42,828	42,233
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	400	385
土地	1,011	1,011
その他（純額）	73	67
有形固定資産合計	1,484	1,464
無形固定資産	218	224
投資その他の資産		
投資有価証券	6,262	6,658
長期貸付金	47	48
その他	916	799
貸倒引当金	△190	△76
投資その他の資産合計	7,036	7,430
固定資産合計	8,739	9,118
資産合計	51,567	51,351

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成25年６月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	25,874	25,600
短期借入金	6,000	6,000
未払法人税等	268	68
賞与引当金	235	115
役員賞与引当金	28	10
その他	698	569
流動負債合計	33,104	32,364
固定負債		
繰延税金負債	204	364
再評価に係る繰延税金負債	225	225
退職給付引当金	534	539
その他	581	578
固定負債合計	1,544	1,708
負債合計	34,649	34,072
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,762	3,762
資本剰余金	3,130	3,130
利益剰余金	8,957	9,029
自己株式	△58	△58
株主資本合計	15,791	15,863
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	993	1,251
繰延ヘッジ損益	13	△0
土地再評価差額金	116	116
為替換算調整勘定	3	47
その他の包括利益累計額合計	1,126	1,415
純資産合計	16,918	17,279
負債純資産合計	51,567	51,351

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第１四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自 平成24年４月１日 至 平成24年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自 平成25年４月１日 至 平成25年６月30日）
売上高	22,924	23,365
売上原価	21,408	21,760
売上総利益	1,515	1,604
販売費及び一般管理費	1,230	1,270
営業利益	285	334
営業外収益		
受取利息及び配当金	64	65
貸倒引当金戻入額	17	9
その他	12	8
営業外収益合計	93	83
営業外費用		
支払利息	19	16
売上割引	2	2
その他	6	2
営業外費用合計	28	21
経常利益	351	396
特別利益		
移転補償金	16	－
特別利益合計	16	－
特別損失		
投資有価証券評価損	78	－
事務所移転費用	6	－
特別損失合計	85	－
税金等調整前四半期純利益	281	396
法人税、住民税及び事業税	87	64
法人税等調整額	47	97
法人税等合計	134	161
少数株主損益調整前四半期純利益	147	234
少数株主利益	－	－
四半期純利益	147	234

四半期連結包括利益計算書
第１四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年６月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	147	234
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△369	257
繰延ヘッジ損益	△5	△13
為替換算調整勘定	7	43
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	0
その他の包括利益合計	△368	288
四半期包括利益	△221	522
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△221	522
少数株主に係る四半期包括利益	－	－

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第1四半期連結累計期間（自　平成25年4月1日　至　平成25年6月30日）

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結累計期間（自　平成25年4月1日　至　平成25年6月30日）

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

Ⅰ　前第1四半期連結累計期間（自　平成24年4月1日　至　平成24年6月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			合計	調整額(注)1	四半期連結損益計算書計上額(注)2
	化学品事業	機能材事業	その他事業			
売上高						
外部顧客への売上高	16,488	6,281	154	22,924	―	22,924
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	―	5	5	△ 5	―
計	16,488	6,281	159	22,930	△ 5	22,924
セグメント利益	548	106	△ 2	653	△ 367	285

(注) 1. セグメント利益の調整額△367百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ　当第1四半期連結累計期間（自　平成25年4月1日　至　平成25年6月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			合計	調整額(注)1	四半期連結損益計算書計上額(注)2
	化学品事業	機能材事業	その他事業			
売上高						
外部顧客への売上高	15,994	7,055	315	23,365	―	23,365
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	―	169	169	△ 169	―
計	15,994	7,055	485	23,535	△ 169	23,365
セグメント利益	549	213	△ 3	759	△ 425	334

(注) 1. セグメント利益の調整額△425百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。